

～行って欲しいOUTDOORスポット～

茨城県は自然豊かな環境にあり、キャンプ・サイクリング・登山などに適した地域です。現在、茨城県では観光客誘致のためアウトドアが楽しめるスポットを広報しています。

○つくば霞ヶ浦りんりんロード↓ (つくば市外13市町村)

霞ヶ浦と筑波山をダイレクトに繋ぎ、フラットな平野を中心とした総距離約180kmのサイクリングロードです。2019年11月には、世界に誇りうる「ナショナルサイクルルート」として指定されました。

つくば霞ヶ浦りんりんロード



山間エリアのキャンプ場

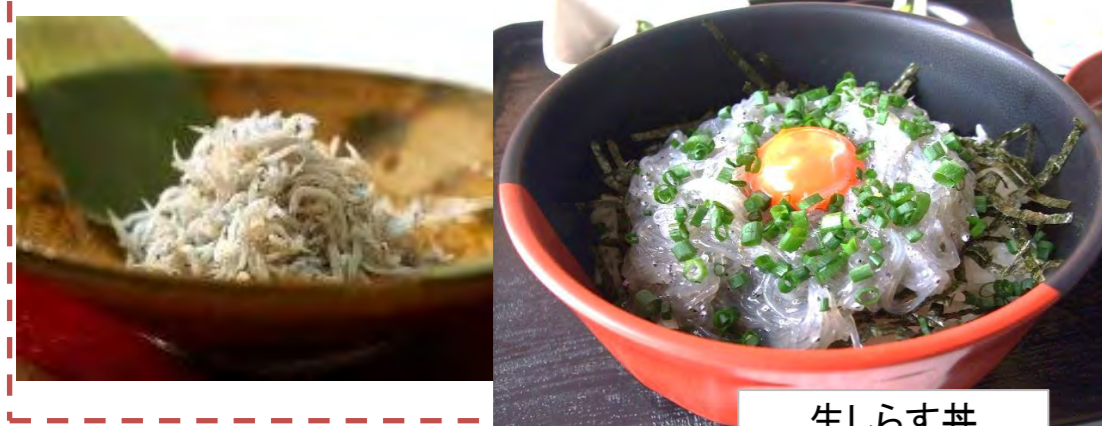
○キャンプ場↑

茨城県は、キャンプ場の数が**163か所と日本一**で、首都圏からも近く「山、海、川、湖」の多様な自然環境の中でキャンプを楽しめます。
▼山間エリアは、夏場でも涼しく過ごす事ができます。満点の星空と早朝の雲海も魅力です。
▼海辺エリアは、美しいビーチが多く、贅沢なひと時を過ごせます。食事で魚介類が楽しめます。
▼湖畔エリアは、霞ヶ浦、涸沼(ひぬま)等があり、静けさに包まれた時間を過ごせます。野鳥や植物の観察もできます。
▼川辺エリアは、流れが穏やかな河川が多いため、お子さんも安心して川遊びができます。

～茨城の食べて欲しいグルメ～

○しらす

・繊細な魚体に傷が付かず水揚げ時にはまだ生きている茨城のしらす。全国的にも珍しい「1そう曳き」と呼ばれる漁法で獲っています。すぐに加工された「しらす干し」や「ちりめん」は全国有数の生産量です。急速冷凍した生しらす「海の輝き」は自信を持ってお勧めできる逸品です。



生しらす丼



○常陸牛

・常陸牛は1976年(昭和51年)に誕生した茨城を代表する銘柄牛です。特徴は、きめが細かく、霜降りの肉はとて柔らかく風味がよいのが特徴です。今では、タイ、ベトナム、アメリカ、シンガポールへも輸出され、好評を得ています。

○納豆

水戸納豆は、1889(明治22)年、鉄道の開通に伴い発売されました。観光客にも大好評で、今やブランドとして、全国的に有名になりました。毎年、7月10日の「なっとうの日」には県内等でイベントが開催されています。

～茨城のおみやげ～

茨城県は、メロン、栗の産地として全国1位です。また、納豆は言わずと知れた全国生産量トップクラスです。茨城県の有名なお土産を購入するときは、この3つをお勧めします。

村田 圭吾②(吾妻)

○茨城めろんの片思い、茨城いちごの初恋、茨城さつまいもの出会い

茨城「旅みやげ大賞」を受賞したお土産の1つです。完熟メロンの果汁を使用した自家製メロン餡、軽やかな甘さの苺ジャム、焼き芋から作られた濃厚な紅あずまペーストをたっぷり使った贅沢なパイです。

出典先
<https://lefukasaku.com/menu/sweets-menu/item10/>



薬納豆

○すいーとまるん→

茨城「旅みやげ大賞」を受賞したお土産の1つです。笠間産の栗をきめ細やかなペースト状にして、ブランデーや、卵黄を練りこみ、一口サイズに仕上げた焼き菓子で、原材料の約半分が栗という贅沢な一品です。

今回は茨城県観光物産課の小松崎さんから、茨城県の魅力を教えて頂きました。私たちが住んでいる茨城県は豊かな自然と美味しい食べ物に囲まれた県で、さまざまな魅力がありました。また、私たちが知らない隠れた県の魅力やおすすめスポットも教えて頂きました。茨城県の魅力を再認識できる良い機会でした。

田中結人②(下妻・東部)

茨城の魅力度アップのため

私たちが住んでいる茨城県は2021年の都道府県魅力度ランキングで最下位の47位になってしまいました。そこで今回は茨城県の魅力度をアップさせたいと思い、3月9日に茨城県観光物産課の小松崎智樹さんへオンライン取材を行いました。小松崎さんから、茨城県内で有名な観光名所・アウトドアSPOT、茨城県に来たらぜひ食べて欲しいグルメ、購入して欲しいお土産について説明をいただきました。

今回はその中から私たちのおススメを紹介したいと思います。皆さんも茨城県の良いところを再認識し周囲の方へSNSなどで告知して頂けたら幸いです。

仲村 由圭②(並木)



オンライン取材で茨城県の魅力について丁寧に説明して下さいの小松崎さん

↑茨城県観光物産課 小松崎智樹さん



ネモフィラ 4月中旬～5月上旬



○アクアワールド茨城県大洗水族館(大洗町)

日本一のサメの飼育種類数を誇り、世界の海の生物に出会う事ができる大型水族館です。サメをテーマとした「シャークダイズルーム」や神秘的な夜の水族館を楽しむことができる限定の「オーシャンナイトライブ」など新たな魅力が加わりました。



○竜神大吊橋(常陸太田市)
県北の奥久慈県立自然公園に位置する竜神大吊橋は歩行者専用の橋としては、最大級の375mの長さを誇りません。湖面から100mという高さを活かしたバンジー・ジャンプも人気です。出典先「観光いばらき」より

→竜神大吊橋
←バンジー・ジャンプ(100mの高さ)

～お勧め観光スポット～

○袋田の滝(大子町)

大岸壁を四段に流れ落ちる事や、その昔、西行法師が訪れた際、「四季に一度ずつ来てみなければ本当の良さは分からない。」と絶賛したことから、「四度の滝」とも呼ばれています。



冬の袋田の滝は水結っていて、違った情景です

○国営ひたち海浜公園(ひたちなか市)

四季の花々が咲き誇る「花の楽園」です。春に咲くネモフィラは、瑠璃色の絨毯のようで、国内外から、注目を集めています。秋には、多数のコキアが埋め尽くし、ネモフィラとは違った情景が楽しめるそうです。両方の花は園内の「みはらしの丘」で見られます。入園料は普段は450円(高校生以上)ですが、コキア・ネモフィラの見ごろの時期は700円になります。

コキア 9月下旬～10月下旬



オーシャンナイトライブ

★開催日時
3月26日～30日、4月2日、9日、16日、23日 営業、18時～20時
★参加費
大人2000円、小中学生900円
チケット販売は「asoview!」WEB販売
<https://www.asoview.com/channel/ticket/qk2rIVYZU2/ticket0000007119/>
夜の水族館は宇宙のような雰囲気味が味わえます。

100mのバンジー・ジャンプ 竜神大吊橋



生徒会新聞
茨城県
魅力度アップ新聞
2022.3.19
つくば秀英高等学校
生徒会発行

生徒会発行
「秀花新聞」
全国高等学校総文祭
新聞の部9年連続出場

茨城県の
おススメ紹介
観光・グルメ・土産
OUTDOOR
特集号

INDEX

1面
・茨城の魅力度アップのため
～お勧め観光スポット～
・100mのバンジー・ジャンプ
竜神大吊橋
2面
・行って欲しいOUTDOORスポット
・茨城の食べて欲しいグルメ
・茨城のおみやげ

※記事内の○の中の数字は学年()は(出身中学校)になります。

今回は茨城県の「魅力度アップ」について2回に渡って新聞作成をしました。



秀花新聞バックナンバー

全国NO.1のシェア 「干し芋」ほしいも専門店 大丸屋

茨城県を代表する甘くて栄養たっぷりの特産品「ほしいも」。全国シェア率はなんと9割以上を誇っています。

干し芋の主な生産地は、「ひたちなか市」や「鉾田市」などです。

茨城県は、さつまいもの生育に適した水はけの良い肥沃な土壌と、冬場に海から吹く冷たい風が芋の乾燥の工程に向いていたことから、全国に誇る特産品に発展していききました。

茨城県は「ほしいも」のシェアは全国1位ですが、「さつまいも」の生産量は、鹿児島に次いで全国2位となっています。

「ほしいも」の人気商品は、しっとり濃厚な甘さの「紅はるか」などの品種です。

村田 圭吾②(吾妻)



注文した「ほしいも」食べ比べ詰合せ7品(3,240円)

ほしいも専門店 大丸屋

URL: <https://www.e-daimaruya.co.jp/>
ひたちなか市釈迦町18-38
TEL 029-263-7777

↑ほしいも食べ比べ詰合せ7品(3,240円)1つ80g
「紅はるか・玉豊・シルクスイート・玉乙女・紅橙・みつき芋・紫いも・くり黄金・星キラリ・紅姫・赤いお芋・隼人・泉」の中から7種セレクトされて届きます。(注)内容はお店のお任せになります。



◆紅はるか 人気No1商品

特徴としては、やはり甘さです。高糖度でスイーツ並の甘さと芳醇な香りが口いっぱいに広がります。しっとり柔らかく肉厚のほしいもです。お芋本来の甘みが最大限に引き出されています。食べやすいサイズのためお芋が好きな人は一瞬で一袋ぺろっと完食してしまいそうです。

◆星こがね↓
芋の繊維感がほど良く残り、柔らかすぎず、堅すぎず、まさにもちもちといった食感です。芋の香ばしい風味が漂ってきて、口に入れるとあとから甘みが広がって、飽きない甘さとなっています。「星こがね」は、干し芋を食べてみたいという方にオススメな商品です。



◆志留久(シルク)すいとん↑
2012年から生産が開始された、比較的新しい品種の芋です。シルクという名の通り、舌触りがしっとりとしていて、とてもなめらかです。食感はモチモチしていて甘みがあり、芋本来の味が出ています。干し芋があまり好きではない方にも食べやすいと思います！

編集後記

今回は、茨城県の名産品お土産について特集しました。恥ずかしながら私自身が茨城県出身にも関わらず、「おかし」や「干し芋」が茨城県の名産だとは知らなかったです。今回購入した干し芋食べ比べセットは、七種類ありましたが、それぞれ食感や舌触りに特徴がありました。しかも茨城県は干し芋のシェア率が全国の9割と聞いて驚きました。京都のお土産と言ったら、八ッ橋というくらい茨城県の名産品も有名になるべきものだと思います。おかしは、醤油、塩味ともに食べた瞬間にサクッとした食感と香ばしさが口の中に広がっていき、まさに茨城県の名産にふさわしい一品でした。また、一つひとつのサイズも大きく食べ応え抜群でした。二個セットでリーズナブルな値段でした。このような美味しいものが茨城県にあったのだと、痛感させられました。茨城県は二〇二一年の魅力度ランキングは最下位でしたが、隠れた名産品が沢山あることを、県外の人たちに知ってもらいたいと強く思いました。私たちが出来る限り、多くで茨城県の魅力を発信し、多くの人に茨城県の魅力を伝えるて行きたいと思いました。

田中結人②(下妻・東部)

茨城県の名産品(お土産コーナー)

↓茨城県産品お取り寄せサイト↓
URL: <https://www.ibarakimeisan.com>



私たちが住んでいる茨城県は2021年の都道府県魅力度ランキングで最下位の47位になってしまいました。そこで今回は茨城県の魅力度をアップさせたいと思い、茨城県内で有名な県産品・お土産の素晴らしさを皆さんに紹介したいと思います。ぜひ、皆さんも茨城県の良いところを再認識し周囲の方へ告知して頂けたら幸いです。

田中 結人②(下妻・東部)

いばらきメイドのおすすめ品を産地直送!

一般社団法人 茨城県観光物産協会
〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38
E-mail: otoriyose@ibarakiguide.info

茨城県産品 お取り寄せサイト 茨城老舗の名物「おかし」

茨城県の名物の「おかし専門店」といえば、昭和25年創業の老舗、都炉美煎(とろびせん)本舗の事をいいます。現在、茨城県内に6店舗あります。(つくば、那珂、水戸大洗、見和、勝田、牛久)

名物の「鏡揚げ」とは？
鏡餅を米油で丁寧に揚げ、調味した逸品です。(株)都炉美煎(とろびせん)本舗の看板商品です。



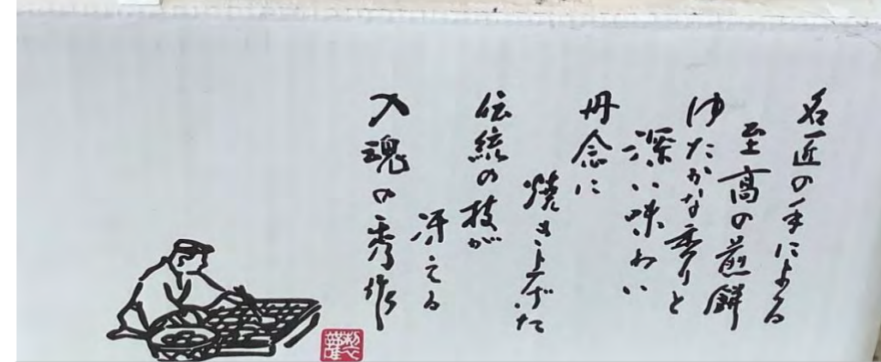
鏡揚げ(醤油味、塩味)

◆醤油味↑

最初に口にするとうんわりとした醤油味と固い歯ごたえのある食感がします。噛めば噛むほど口の中に醤油の風味が広がっていき昔懐かしい味わいを感じることができます。

◆塩味↑

口に入れた瞬間に塩の味わいが広がっていきます。歯ごたえは醤油味より柔らかく丁度よい食べやすさがします。ほどよい塩加減と揚げた油の香ばしさが混ざって、素晴らしい味を堪能できます。



↑鏡揚げポット2個セット(醤油・塩)2個セットで1,296円
(株)都炉美煎(とろびせん)本舗
水戸市栗崎町1249 TEL 029-269-1122
URL: <https://www.torobisen.jp/>



生徒会新聞
茨城県
魅力度アップ新聞
2022.3.9
つくば秀英高等学校
生徒会発行

生徒会発行
「秀花新聞」
全国高等学校総文祭
新聞の部9年連続出場

茨城県のおススメ紹介
名産品・お土産
特集号

INDEX

1面
・茨城県の名産品(お土産コーナー)
・茨城老舗の名物「おかし」
都炉美煎(とろびせん)本舗

2面
・全国NO.1のシェア「干し芋」
ほしいも専門店
大丸屋
・編集後記

※記事内の○の中の数字は学年()は(出身中学校)になります。



秀花新聞バックナンバー